



## 平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年12月14日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月28日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年5月期第2四半期の業績 (平成29年5月16日～平成29年11月15日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	8,960	△4.5	53	△81.5	72	△76.7	42	△76.7
29年5月期第2四半期	9,387	△2.7	289	△31.6	313	△30.3	182	△33.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	15.63	—
29年5月期第2四半期	66.99	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	8,542	5,939	69.5	2,177.20
29年5月期	8,973	5,979	66.6	2,191.66

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 5,939百万円 29年5月期 5,979百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年5月期の業績予想 (平成29年5月16日～平成30年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,386	△5.9	349	△62.2	376	△60.8	140	△69.4	51.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年5月期2Q	2,903,600株	29年5月期	2,903,600株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	175,480株	29年5月期	175,416株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年5月期2Q	2,728,167株	29年5月期2Q	2,728,238株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景として緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、依然として消費者の強い節約志向に加え、食材全般にわたる不足感から仕入価格の高騰傾向が止まず、また、労働需要の逼迫に伴う労働単価の上昇及び人材確保が大きな課題になる等、経営環境はより厳しさを増しております。

このような状況において、販売促進につきましては、「天然南まぐろ」や、「創業祭!長崎県産生本まぐろ」など、当社の主力商品である「まぐろ」にこだわった「高品質」かつ「お得感」のあるイベントメニューの充実と、「秋の幸を握る!」をテーマとして、旬の食材にこだわった銚子丸らしい商品開発に努め、お客様の来店動機高揚を図ってまいりました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間における新規出店はなく、一方で、限られた人的資源の有効活用を図るために、四つ木店(平成29年5月)及び上福岡店(平成29年6月)を閉店しました。この結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は91店舗となっております。また、既存店強化のために、当第2四半期累計期間において、席数増加や作業性・イメージアップを目的とした改装を7店舗実施しました。

しかしながら、夏期の長期天候不順による客数減と、店舗勤務者の人手不足から新規出店が遅れたこと等の影響により、当第2四半期累計期間における売上高は89億60百万円(前年同期比4.5%減)となりました。また、利益面についても、売上高の減少に加え、食材全般の不足感による原材料価格の高騰や、労働需給の逼迫に伴う人件費の増加、既存店強化を目的とした改装に係る修繕費の増加などが影響し、営業利益は53百万円(同81.5%減)、経常利益72百万円(同76.7%減)、四半期純利益は42百万円(同76.7%減)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ4億31百万円減少し、85億42百万円(前事業年度末比4.8%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億63百万円減少し、58億69百万円(同5.8%減)となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少2億円、売掛金の減少14百万円、原材料及び貯蔵品の減少23百万円及びその他の減少1億23百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ68百万円減少し、26億72百万円(同2.5%減)となりました。主な内訳は、建物(純額)の減少61百万円であります。

## (負債・純資産)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ3億92百万円減少し、26億2百万円(前事業年度末比13.1%減)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ3億89百万円減少し、22億19百万円(同14.9%減)となりました。主な内訳は、買掛金の減少2億90百万円、未払金の減少1億2百万円、未払法人税等の減少1億84百万円及び短期借入金の増加1億38百万円、賞与引当金の増加60百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、3億82百万円(同0.7%減)となりました。主な内訳は、資産除去債務の減少7百万円及びその他の増加4百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ39百万円減少し、59億39百万円(同0.7%減)となりました。主な内訳は、利益剰余金の減少39百万円であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億円1百万円減少し、49億23百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億48百万円(前年同期は38百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益66百万円、減価償却費1億17百万円による資金の獲得及び、仕入債務の減少額2億90百万円による資金の使用によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は97百万円(前年同期は1億62百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出87百万円による資金の使用と、資産除去債務の履行による支出10百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は45百万円(前年同期は82百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の増減による収入1億38百万円と、リース債務の返済による支出10百万円及び配当金の支払額81百万円による資金の使用によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降の経営環境につきましては、消費者の生活防衛意識は依然根強い状況に加え、原材料価格の高止まりや労働需給バランスの悪化などにより、当第2四半期累計期間同様の経営状況が続くものと予測されます。

このような厳しい状況が見込まれるため、平成29年6月29日公表の平成30年5月期通期(平成29年5月16日～平成30年5月15日)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表の業績予想の修正に係る適時開示資料をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,531,479	5,330,516
売掛金	81,091	66,106
原材料及び貯蔵品	190,225	166,337
その他	430,391	306,613
流動資産合計	6,233,188	5,869,573
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	967,953	906,877
その他(純額)	378,430	397,242
有形固定資産合計	1,346,384	1,304,120
無形固定資産	21,367	16,821
投資その他の資産		
敷金及び保証金	864,477	858,346
その他	509,563	494,433
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,372,962	1,351,701
固定資産合計	2,740,715	2,672,643
資産合計	8,973,903	8,542,217
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,095,801	804,944
短期借入金	60,000	198,000
資産除去債務	5,427	5,853
未払金	921,934	819,894
未払法人税等	258,359	73,883
賞与引当金	110,600	171,490
株主優待引当金	34,249	33,460
店舗閉鎖損失引当金	13,400	2,000
その他	109,400	110,366
流動負債合計	2,609,172	2,219,892
固定負債		
資産除去債務	206,353	199,179
その他	179,136	183,494
固定負債合計	385,489	382,673
負債合計	2,994,661	2,602,565

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	6,173,039	6,133,827
自己株式	△746,669	△746,956
株主資本合計	5,979,149	5,939,651
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92	-
評価・換算差額等合計	92	-
純資産合計	5,979,242	5,939,651
負債純資産合計	8,973,903	8,542,217

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成28年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年5月16日 至平成29年11月15日)
売上高	9,387,874	8,960,850
売上原価	3,898,571	3,788,800
売上総利益	5,489,303	5,172,050
販売費及び一般管理費	5,199,562	5,118,538
営業利益	289,741	53,511
営業外収益		
受取利息	1,543	1,152
協賛金収入	16,563	12,828
有価証券売却益	-	141
その他	7,202	6,158
営業外収益合計	25,310	20,281
営業外費用		
支払利息	903	448
現金過不足	826	382
その他	0	2
営業外費用合計	1,730	832
経常利益	313,320	72,960
特別利益		
固定資産売却益	-	64
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	6,000
特別利益合計	-	6,064
特別損失		
固定資産除却損	865	0
減損損失	20,457	12,065
特別損失合計	21,323	12,065
税引前四半期純利益	291,997	66,959
法人税等	109,244	24,326
四半期純利益	182,753	42,633

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成28年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年5月16日 至平成29年11月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	291,997	66,959
減価償却費	129,423	117,510
のれん償却額	10,739	-
有価証券売却損益(△は益)	-	△141
減損損失	20,457	12,065
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	25,464	18,265
賞与引当金の増減額(△は減少)	69,720	60,890
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△11,400
受取利息及び受取配当金	△1,555	△1,159
支払利息	903	448
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△64
固定資産除却損	865	0
売上債権の増減額(△は増加)	59,629	14,985
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,825	23,888
仕入債務の増減額(△は減少)	△359,434	△290,857
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,596	△46,342
その他	△78,568	69,764
小計	202,872	34,812
利息及び配当金の受取額	288	214
利息の支払額	△874	△460
法人税等の支払額	△163,564	△183,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,722	△148,929
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△384,090	△407,401
定期預金の払戻による収入	384,008	407,285
有形固定資産の取得による支出	△141,441	△87,346
長期前払費用の取得による支出	-	-
敷金及び保証金の差入による支出	△5,051	△5,050
敷金及び保証金の回収による収入	682	5,010
建設協力金の支払による支出	△17,000	-
資産除去債務の履行による支出	-	△10,361
その他	-	681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,892	△97,183
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	265,000	330,000
短期借入金の返済による支出	△256,000	△192,000
リース債務の返済による支出	△13,950	△10,918
自己株式の取得による支出	△143	△286
配当金の支払額	△76,964	△81,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,059	45,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,229	△201,078
現金及び現金同等物の期首残高	4,691,104	5,124,193
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,484,875	4,923,114

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。